



優秀賞

📷 夕暮れの終着駅

撮影場所: 枕崎駅舎 (枕崎市東本町)
撮影者: 浜田 誉さん

JR最南端の始発・終着駅である枕崎駅舎。外壁は地元の特産品であるかつお節工場の壁をイメージするなど、枕崎の特色を表した景観を形成しているほか、木材には地場産材が使われ、地域性が高く親しみ深い場所となっています。(H25年度)



優秀賞

📷 潮風はいざなわれ

撮影場所: なぎさミュージアム (始良市平松)
撮影者: 米倉 広美さん

錦江湾奥部が「霧島錦江湾国立公園」に指定されたことを受けて環境省が整備した「なぎさミュージアム」。松林と調和した建物は県産木材を使用した温かみのある外観で、美しい景観を形成しています。(H28年度)



最優秀賞

📷 帰りは図書館へ

撮影場所: 県立奄美図書館 (奄美市名瀬古田町)
撮影者: 益満 久美さん

奄美の伝統的な船をイメージした特徴的な正面を持つ奄美図書館。道路に面した図書館は見やすい色彩で仕上げられていて、奄美のまちなみの魅力を引き立てています。(H25年度)

未来に残そう鹿児島の景観

景観の役割とは

- 暮らしに潤いや活力を与える
- 地域に対する誇りや愛着を育む
- 観光客が増加するなど地域活性化につながる

～優れた景観を未来に～

良好な景観を県民共通の資産として
みんなで守り、育て、つくっていきましょう。

「かごしま・人・まち・デザイン賞」とは

県民の皆さんの景観に対する関心と理解を深め、個性豊かで魅力あふれる景観づくりを推進するために実施しており、今年も7月～9月に公募予定。良好な景観に貢献している活動や建物などについて、ご応募お待ちしております。

過去作品は
こちら



景観づくりを応援!

県では、景観形成の助言・指導を行う景観アドバイザーの派遣など、景観づくりをサポートする取り組みを行っています。

詳細は
こちら



〈問い合わせ先〉県庁地域政策課 Tel. 099-286-2438

小特集

心ひかれる
鹿児島の景観

—「かごしま・人・まち・デザイン賞」フォトコンテスト—

雄大な自然、特色ある歴史や文化、そして日々の営みの中で育まれてきた多彩な景観が各地に広がる鹿児島。こうした景観を未来に引き継ごうと、さまざまな取り組みが進められており、県では、景観の形成に特に功績があった方を「かごしま・人・まち・デザイン賞」により表彰しています。

これらの優れた景観をもっと知ってもらおうと、これまで受賞された景観にスポットを当てたフォトコンテストを昨年初開催しました。今回は、その入賞作品を通じて、心ひかれる県内の景観をご紹介します。

自然・歴史的景観部門

最優秀賞

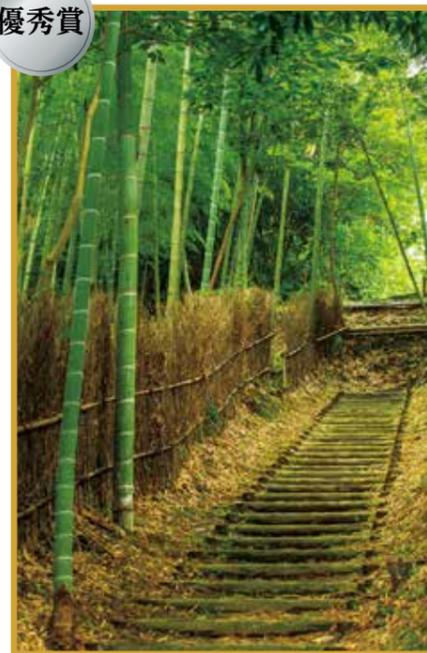


蒲生武家屋敷通り

撮影場所: 始良市蒲生町麓
撮影者: 諏訪園 保さん

風格ある石垣や武家門などが残る蒲生町麓では、特定非営利活動法人「Lab蒲生郷」が武家門型の案内看板などを設置し、統一された魅力的なまち並みを創出しています。写真からは、保存状態の良い武家屋敷通りの様子が伝わってきます。(H26年度)

優秀賞



陶芸のまちの竹林ロード

撮影場所: 日置市東市来町美山
撮影者: 野田 卓也さん

420年の歴史を持つ薩摩焼の里、美山では、「美山未来つなぎ隊」が約1万平方メートルの荒れ果てた竹林を綺麗に整備しました。また、竹林整備で出た竹や笹を使用した竹垣などを街のいたる所に設置。魅力的な景観が陶芸と共に美山の新たな誇りになっています。(H30年度)

優秀賞



朝日に輝く大樹

撮影場所: 国頭小学校 (大島郡和泊町国頭)
撮影者: 山崎 美恵子さん

明治31年の第1期卒業生が植えたガジュマルの木は、太平洋戦争の空襲や台風を乗り越えて受け継がれたもの。国頭小学校を始めとする地域全体でこの木を地域のシンボルとして守っています。幹周り6m・枝張り22mの巨木は壮観。(H29年度)

※(〇年度)は「かごしま・人・まち・デザイン賞」の受賞年度